

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 アーチャライバル・ゴールド	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.460	△RG 0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：アーチャライバル・ゴールド

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

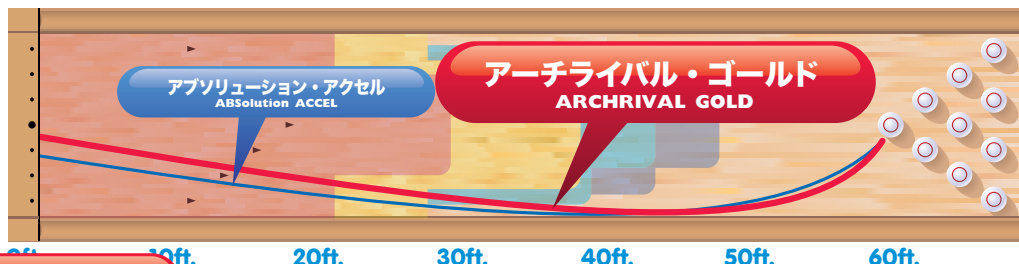
比較対照ボール：アブソリューション・アクセル

フレアーの幅 インチ

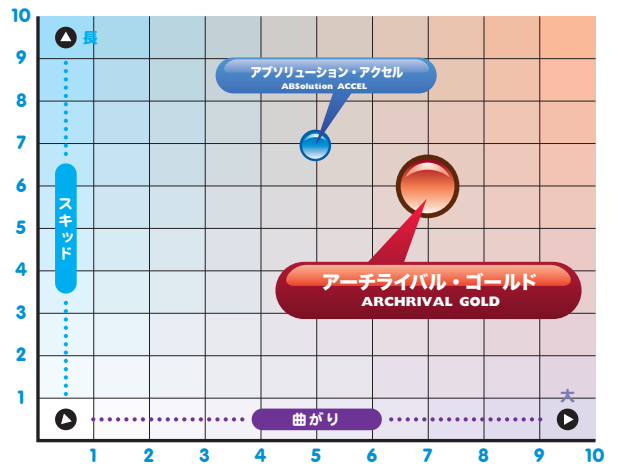
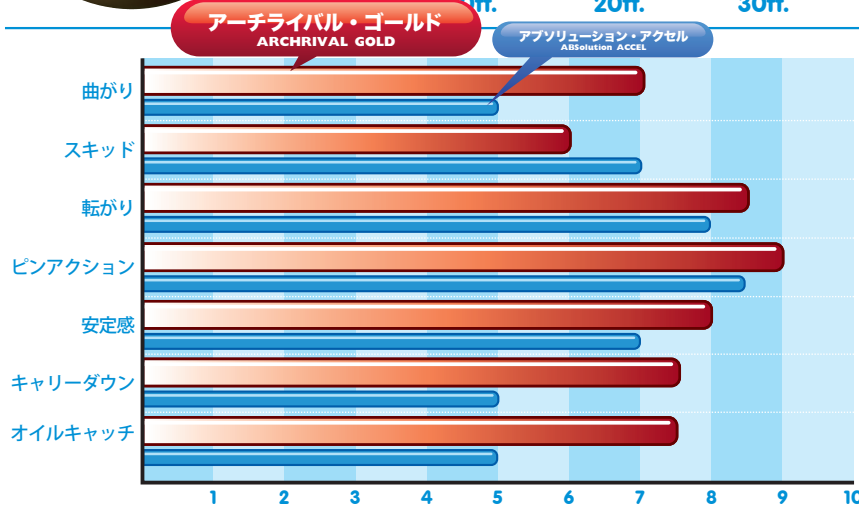
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

Accu-line Tour PremiumからAccu-Riseと今や多くのユーザーが求めている注目のメーカーの日本エポナイト社からNanodesuシリーズ、ABSolutionシリーズ以外で新たに”ARCHRIVAL”という両者の中間になる性能の領域を発売することになりました。今までのABSブランドではオイルがある領域で定評があるNanodesuシリーズとMedium light領域で定評があるABSolutionシリーズとの差はかなり開きがあります。

その差を何とか埋めて貰えないかというユーザーからの要望に今回ABSボール開発チームが応えたもので、今月発売のNanodesu spareと合わせユーザーの中ではAccu-line Tour Premium以降、Nanodesuブランドでボールを統一しようとするユーザーが多くなっています。ARCHRIVALの特筆すべき点は、Coverstockにジルコニア粉末を添加剤として使用していることです。ジルコニアは表面の凹凸Ra値(ラフネスアベレージ)とRs値の構成を従来のリアクティブから変化させるために採用したもので、μレベルで摩擦を増やすことが当社比較で分かりました。そのCoverstockにGMI Magnetコアと衝撃吸収コアシステムを加えることで、走りの中にも粘り強いキャッチと国産ならではのピンキャリアを実現させたのがARCH RIVAL GOLDです。テストングでさまざまなカバーと比較しましたが、ジルコニア添加のキャッチは明らかに強く感じたのが印象です。同じカバーでも混入ありなしでは手前のキャッチの粘りが違い、結果全体的な曲がりも変わります。私の場合はジルコニア混入のほうがピンキャリアが良いと思えるほどその恩恵は計り知れないと思ったほどです。この製法によりNanodesuのカバーとABSolutionとのカバーとの差別化が図れ、両者の中間の性能を見出すことができました。Tour Premiumが今尚要望に応え作られている中でさまざまな領域で日本エポナイト社のボールが活躍する時がきました。

特記事項

多くのユーザーの要望に応え、ブランド統一という野望をこのボールで叶えられるようになりました。柔らかい走りと柔らかいピンキャリア。もう怖いものはありません！